

プレスリリース [令和3年2月5日]

(計1枚)

加賀市が進めるスマートシティの具体策のひとつ MaaSの実証用アプリを使ったコロナ禍における店 舗の混雑情報配信および公共交通情報の提供を開 始します

本年度、国土交通省による「日本版 MaaS 推進・支援事業」に加賀市の「加賀 MaaS 実証事業」が県内で唯一採択されました。現在、実装準備を進めており、このたび実証用 MaaS アプリが完成しました。本アプリを使い、コロナ禍における店舗等の混雑情報の配信と公共交通情報の提供を行うことで、市民および観光客の移動利便性の向上を図ります。

(目的)

コロナ禍において、店舗等の混雑情報を配信することで、市民や観光客が3密を避けながら安心して外出できるようにする。また、店舗の営業情報やクーポン等の情報と公共交通情報を併せて提供することで、市民や観光客の利便性を高める。

(事業期間)

令和3年2月8日(月)～令和3年2月28日(日)

(対象者)

加賀市民の方及び観光客の方で、モニター登録をされた方

※ご取材については、2月8日(月)14時～かが交流プラザさくら3F コワーキングスペース(加賀市大聖寺八間道65番地)にてアプリをご覧いただきながら機能説明をさせていただきます。

本件へのお問合せ先
加賀市政策戦略部スマートシティ課 担当：国立 TEL 0761-72-7826